

株主 通信

2018年12月期

2018.1.1 ▶ 2018.9.30

GMOフィナンシャルHD

証券コード：7177



証券・FX事業の収益性 改善の取り組みが奏功、 さらなる成長に向けた 戦略を推進

代表執行役社長
グループCEO

鬼頭 弘泰

当第3四半期連結累計期間は、証券・FX事業が牽引して、営業収益は前年同一期間と比較して68.2億円の増収、各段階利益においても増益を達成しました。

証券・FX事業は、店頭FXが引き続き好調であったほか、CFDも取引人数が増加し、堅調に推移しました。店頭FXについては、カバーコストの低減を図るため、ビッグデータ解析・AIの活用に加え、法人向け取引の実証実験を開始しています。今後の収益性のさらなる改善にご期待ください。株式は、信用取引の手数料・金利体系や大口プランを見直した影響による売買代金の減少も下げ止まりを示し、利益率も改善しています。また、GMOあおぞらネット銀行とGMOクリック証券の口座連携サービス「証券コネクト口座」の提供を8月から開始しましたが、順調な滑り出しで、手ごたえを感じています。

仮想通貨事業は、第1四半期(1-3月)において損失を計上しましたが、その後は利益回復に向かい、当第3四半期連結累計期間においても黒字化を果たしました。GMOコインの売買代金は、ボラティリティの低下を背景に減少傾向で推移していますが、口座数は引き続き伸長し、顧客預り資産(ビットコイン)の数量も7月以降、増加傾向で推移しています。また、お客様のニーズにお応えして9月からは取引所サービスも開始し、シェア拡大に向けた取り組みを推進しています。

株主の皆様におかれましては、当社グループのさらなる成長にご期待いただき、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▼第3四半期決算のポイント

仮想通貨事業の黒字化も寄与し、大幅増益

当第3四半期

営業収益

26,236 百万円

(前年同一期間比+35.2%)

営業利益

9,268 百万円

(前年同一期間比+51.3%)

経常利益

9,427 百万円

(前年同一期間比+56.3%)

親会社株主に帰属する四半期純利益

6,216 百万円

(前年同一期間比+37.0%)

※ 当社は、2017年12月期に決算日を3月31日から12月31日に変更したため、参考として前年同一期間(2017年1月1日から2017年9月30日まで)との比較を記載しています。

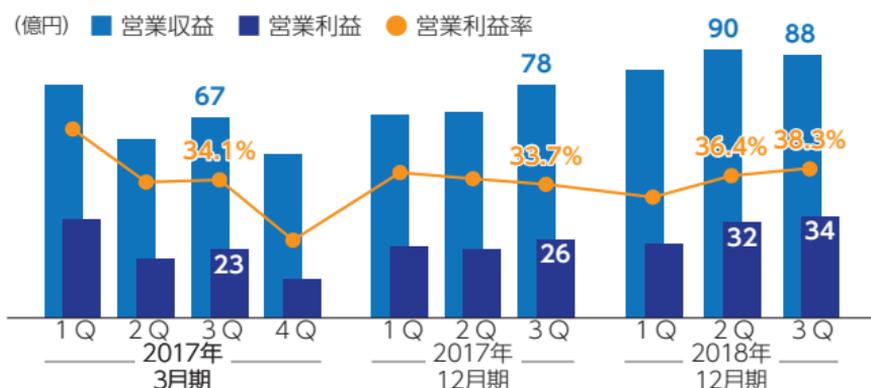
当第3四半期業績レビュー

当第3四半期連結累計期間(1-9月)の証券・FX事業は、店頭FXやCFDが好調に推移したほか、信用取引金利の見直しや貸株収益の増加により、金融収益も増加しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は226.9億円、営業利益は86.3億円となり前年同一期間比で増収増益となりました。

仮想通貨事業は、1月の仮想通貨の価格下落の影響により第1四半期(1-3月)は営業損失を計上しましたが、各種施策の実施により2月下旬以降は安定的に推移しています。この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は29.8億円、営業利益は4.8億円となりました。

■ 四半期業績推移

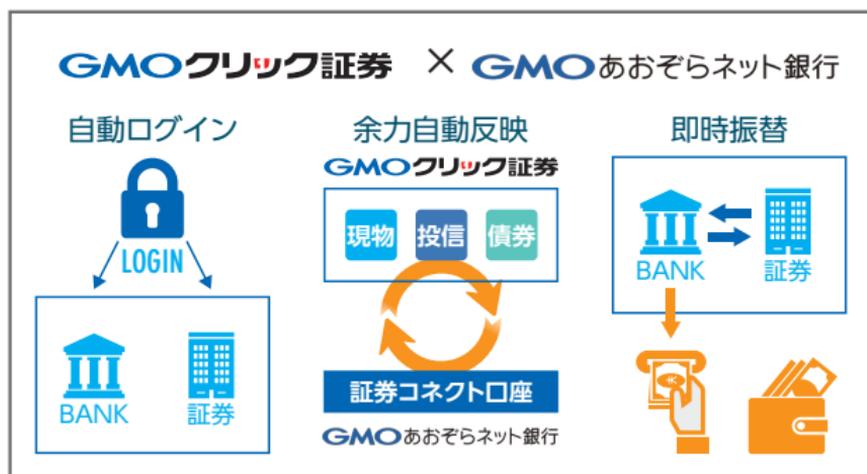
(億円) ■ 営業収益 ■ 営業利益 ● 営業利益率



トピックス

銀行・証券の口座連携でもっと便利に! 「証券コネクト口座」の提供を開始

2018年8月より、GMOクリック証券とGMOあおぞらネット銀行の口座連携サービス「証券コネクト口座」の提供を開始しました。証券コネクト口座は、GMOクリック証券の証券取引口座と連携したGMOあおぞらネット銀行の普通預金口座です。証券コネクト口座の残高は自動でGMOクリック証券の株式(現物)・投資信託・外国債券の買付余力に反映されるほか、預金金利が優遇されるなど、証券取引の利便性を向上させる銀行・証券の口座連携サービスとして、顧客層の裾野拡大を図っていきます。



株式の売出しを実施

2018年10月、当社普通株式の分布状況の改善及び流動性の向上を目的として、当社親会社であるGMOインターネットが保有する当社普通株式2,000万株の売出しと300万株のオーバーアロットメントによる売出しを実施しました。この売出しで、1万件近い個人・法人の投資家に販売し、GMOインターネットの持株比率は、2018年9月末の80.3%から61.9%に低下、売出し後の株式の売買代金も大幅に増加しており、分布状況・流動性ともに改善しています。

売出し株式数	2,300万株
売出し価格	786円

四半期業績の推移

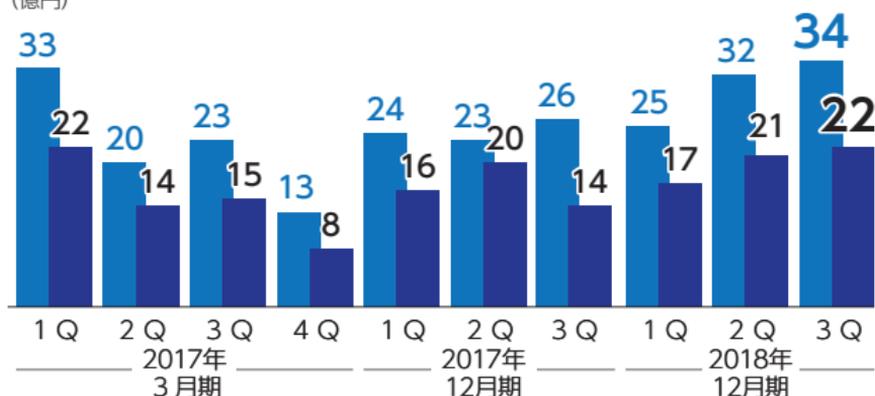
営業収益

- 受入手数料
 - トレーディング損益
 - 金融収益
 - その他
- (億円)



営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

- 営業利益
 - 親会社株主に帰属する四半期純利益
- (億円)



株主還元方針と配当の状況

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、**親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%を目途に、四半期ごとに配当することを目標**としています。

2018年12月期第3四半期末配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり9.54円といたしました。

(単位:円)	1 Q	2 Q	3 Q	期末	年間
2017年12月期	6.90	8.50	—	6.20	21.60
2018年12月期	7.46	8.98	9.54	—	—

※ 決算期変更の経過期間となる2017年12月期は9か月間を連結対象とした変則的な決算となっています。

ホームページのご案内



<https://www.gmofh.com/>

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

会社情報

(2018年9月30日現在)

会社概要

- 商号 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社
(GMO Financial Holdings, Inc.)
- 本店所在地 〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスタワー
- 代表者 代表執行役社長 グループCEO 鬼頭 弘泰
- 事業内容 金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理
ならびにこれに附帯する業務
- 設立 2012年1月4日
- 資本金 656百万円
- 従業員数 352名(連結)

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQスタンダード
- 証券コード 7177 上場日 2015年4月1日
- 事業年度 1月1日～12月31日 定時株主総会 毎年3月
- 定時株主総会基準日 12月31日 1単元の株式数 100株
- 剰余金の配当基準日 3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
TEL:0120-232-711(通話料無料)
受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00
- 各種事務手続き 株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
- 公告の方法 電子公告 公告URL:<https://www.gmofh.com/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。